

深谷市 農委だより

2018年1月
No.25



やまといも



深谷ねぎ



ゆり



ブロッコリー



きゅうり



編集発行 深谷市農業委員会

事務局 〒369-0292 深谷市岡 2381-1 岡部総合支所内 ☎048-577-3439(直通)・FAX 048-585-3520

農業委員会が変わります

平成28年4月1日に「農業委員会（以下「委員会」等）に関する法律」が改正され、委員会の業務がこれまでの「農地転用等の法令に基づく許可業務」に加えて、「農地等の利用の最適化の推進業務」が加えられ、農地等の利用の最適化の推進の強化、農地利用最適化推進委員の新設、農業委員の選出方法が公選制から任命制に変更となりました。

○農地等の利用の最適化の推進とは

- ・担い手への農地利用の集積・集約化
- ・遊休農地の発生防止・解消
- ・新規参入の促進

○農業委員の要件は

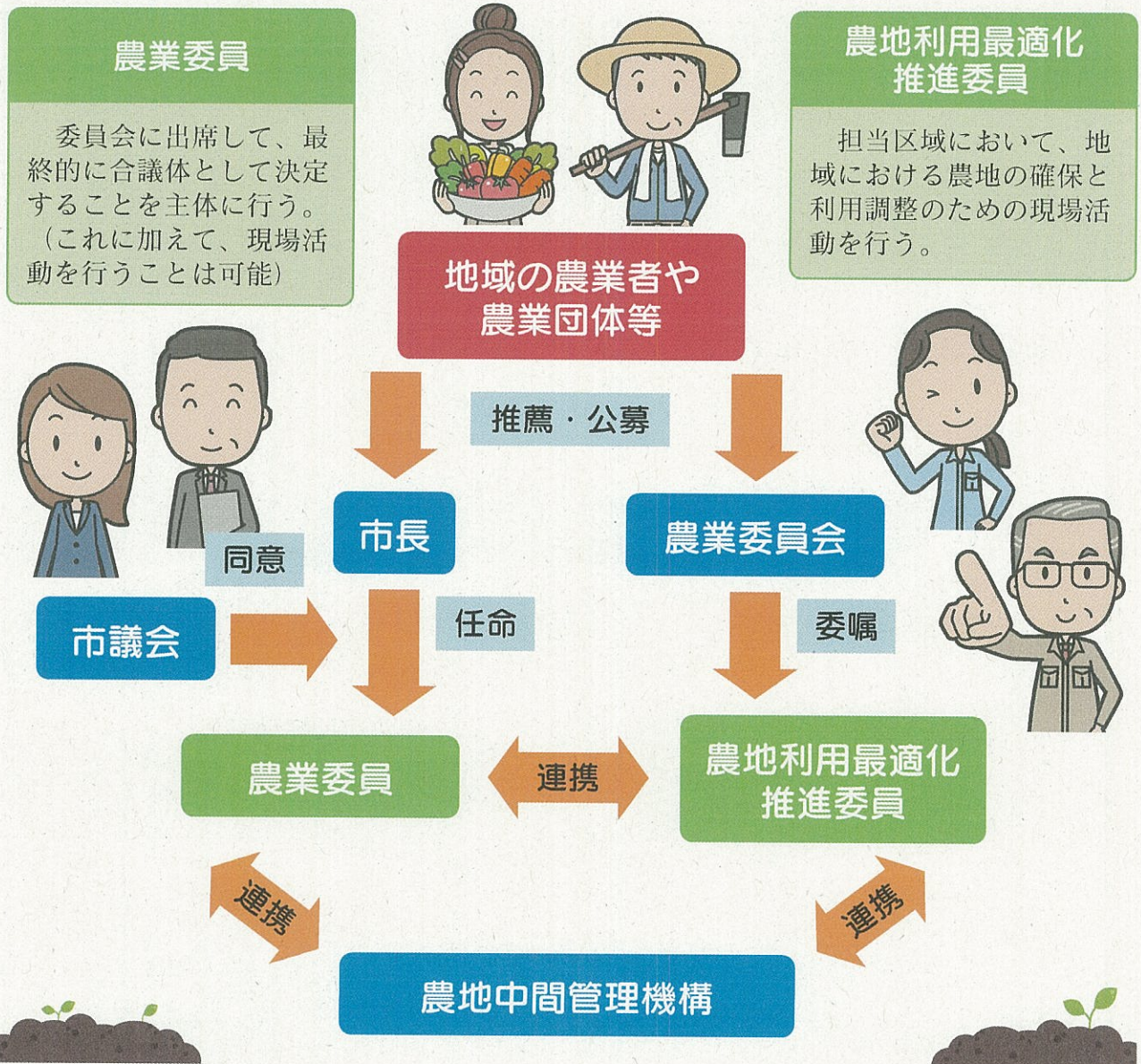
農業に関する識見を有し、委員会の手掌事項に関し職務を適切に行うことができること。任期は3年です。

○農地利用最適化推進委員の要件は

農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有すること。任期は、3年です。

○選任方法

農業委員、農地利用最適化推進委員ともに農業者等の推薦・応募の結果、農業委員は市町村長が議会の同意を得て任命します。農地利用最適化推進委員は、定められた区域ごとに委員会が委嘱します。深谷市では、平成30年7月20日から新たな体制となります。



農業委員・農地利用最適化 推進委員を募集します！

募集
期間

平成30年2月13日(火)から
平成30年3月12日(月)まで

【必着】

募集人数及び区域

- 農業委員…24人
※担当区域設定はなし

- 農地利用最適化推進委員…16人
※担当区域別 深谷・大寄2人、藤沢3人、幡羅・明戸2人、
豊里・八基2人、岡部3人、川本2人、花園2人

任期

- 農業委員
平成30年7月20日から
平成33年7月19日までの3年間
- 農地利用最適化推進委員
平成30年7月20日(予定)から
平成33年7月19日までの3年間

身分及び報酬額

深谷市の特別職の非常勤職員として、
月額33,000円(予定)



推薦及び応募に係る書類の提出先・問合せ先

詳しい内容については、深谷市農業委員会事務局までご連絡ください。

☆深谷市農業委員会事務局
〒369-0292 深谷市岡 2381 番地 1 深谷市岡部総合支所内
Tel 048-577-3439 (直通)

農業収入保険へ加入しましょう

内容

農作物の収入低下に対する保険の制度が、平成31年から始まります。自然災害の他、農作物の価格低下や怪我や病気なども補償の対象となります。

対象作物

米、野菜、果樹、花、茶、しいたけ、はちみつなど、農産物ならどんな品目でも対象になります(肉用牛、肉用子牛、肉豚及び鶏卵は対象外です)。

加入要件

青色申告をしていること

埼玉県農業共済組合(北部統括支所)熊谷市内(二)では、収入保険に関する青色申告相談会を開催します。

とき 2月8日(木)午後1時〜

ところ 埼玉県農業共済組合北部統括支所(熊谷市三ヶ尻322)

定員 50名

参加料 無し

相談会への申込や加入条件等の詳しい内容については左記の連絡先にお問い合わせください。

問い合わせ

埼玉県農業共済組合北部統括支所

☎533318030

台風21号による被害状況について

平成29年10月22日の台風21号により、市内の農作物が大きな被害を受けました。台風による被害面積は、ねぎ236ha・ブロッコリー53ha・ほうれんそう9ha・きゅうり12haで、埼玉県の特別災害に認定されました。



クロバネキノコバエ科の一種の防除対策をお願いします

昨年度より発生が確認されたネギ・ニンジン等を食害するクロバネキノコバエ科の一種ですが、今年度も市内での発生が確認されております。

薬剤防除や残渣処分等の対策を行っておりますが、根絶には至っておりません。引き続き生産者の皆様も防除対策をお願いいたします。

クロバネキノコバエ類の幼虫は泥ネギに付着していることが多いため、泥ネギを出荷する方・市外親戚等に贈答する方は、事前に泥ネギの確認を受ける必要があります。左記連絡先までお問い合わせください。また、付着リスクの少ない「むぎネギ」での取り扱いへの変更を検討してください。

問い合わせ

農業振興課・農業政策係

☎57713298



砂ぼこり対策のご協力について

2月から4月は強風により農地からの砂ぼこりが発生しやすい時期です。風により優良土壌が飛散し、風下の地域へ悪影響を及ぼします。次のような対策で優良土壌の飛散を抑えることができます。



▲強風による砂ぼこりの様子

- 中低木・防風ネット、竜のひげの植栽
- 耕運作業を作付け間近まで控える
- 畑かん等で散水し農地の湿潤化を図る
- 緑肥作物(エン麦、ライ麦)の播種

※市では防風ネットの設置補助を行っています。ご協力頂ける方は農業振興課までお問い合わせください。なお、農地の場所等により設置できない場合があります。



▲農地に設置された防風ネット

●お問い合わせ

農業振興課・整備係
(深谷市砂ぼこり対策協議会)

☎57713298

農業者年金を知っていますか？

農業者が、老後の生活を豊かなものにするためには、国民年金だけでは十分とはいえません。

農業者年金は、国民年金(基礎年金)に上乗せした公的年金です。

加入要件

次の「3つの要件」を満たせば、誰でも加入することができます。脱退も自由にできます。

- ① 国民年金第1号被保険者(ただし、保険料納付免除者でないこと)
- ② 年間60日以上農業に従事するかた
- ③ 20歳以上60歳未満のかた

加入の種類

1、通常加入(通常保険料)
政策支援を受けずに加入する方法で、加入要件を満たした者はどなたでも農業者年金基金に申し出て加入できます。

2、政策支援加入(特例保険料)

加入要件に加えて、認定農業者で青色申告をしているなど一定の要件を満たす農業経営者には、保険料の負担を軽減する政策支援として、保険料の国庫補助を行っています。※月額最高1万円の保険料を国庫補助

保険料は自由に選択

通常加入者の保険料(通常保険料)は、経済状況や老後設計などに応じて、加入

者自らが月額2万円から6万7千円までの間で、千円単位で自由に選択でき、いつでも見直すことができます。

政策支援加入の場合、政策支援区分及び年齢に応じた月額(特例保険料)となります。政策支援を受けている期間は保険料の額を変更することはできません。

その他

・納付した保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります。

・農業者年金に加入されるかたは、国民年金の付加年金(付加保険料月額400円)への加入(強制適用)も必要となります。

よくある質問

Q 脱退は自由にできるとのことですが、脱退した場合の保険料はどうなるのですか？

A 脱退した場合は、脱退一時金は出ません。それまでに積み立てた保険料は、将来年金としてお支払いします。脱退した後も積み立てた保険料の運用状況を毎年6月に基金からお知らせします。

■ 農業者年金の詳しい内容や加入のお申込みは、農業委員会事務局(☎57713439)または最寄りの農協へお問い合わせください。

シリーズ新規就農

「農業活性化の一助に」

上敷免 小松 慎之介さん(40才)

このコーナーでは、シリーズで深谷市の明日の農業を担う新規就農者を紹介しています。

シリーズ第21回は、深谷・大寄地区の上敷免で平成29年6月から就農された、小松慎之介さんにお話を伺いました。

Q これまでの経歴や、農業を始めたきっかけは何ですか？

A 子どもの頃から動植物が好きで、「これからは農業の時代が来る。」という親の勧めもあって、九州東海大学農学部を卒業後、出身地である兵庫県の種苗会社に勤務しました。その後、自分で作りたいとの思いから、上尾市の農業生産法人で小松菜、岡山県の農業生産法人で青ネギの生産を通して農業に携わってきました。現在は、妻の実家に近い深谷市の農業生産法人に勤務し、白ネギを体験しながら、地元の方のご協力で農地と住宅を借り入れ、農業に就きました。

Q 農業を始めて感じたことや、大変なことはありますか？

A これまで、数か所で経験を積んで来ましたが、いざ自分でやるのは、思っていたよりも大変で、作業の手順にも戸惑ったりします。また、自作地に雑草を生やして隣接地の農家に迷惑をかけるように心掛けています。そして何よりも、品質がなぜこう

なったか、良い時、悪い時の要因を常に考えて行っています。

Q 今はどんなことをされていますか？

A 自作地でネギを20a作付けし、勤務を朝8時から午後3時までのパート扱いにしてもらい、その後自作ネギの出荷調整をしています。生活が安定するまでは忙しいですが、このまま頑張っ続けていきます。

Q 休みの日は、何をしていますか？

A 自作地での仕事や子どもとの時間、買い物等に充てています。

Q 将来の夢は何ですか？

A 前職の岡山の農業生産法人は、農業法人から福祉法人に移行し、多数の障害者の雇用も行っていました。将来、「農・福」が連携した障害者雇用も視野に入れつつ、深谷市の発展に少しでも貢献できればと考えています。

最後に、就農にあたってお世話になった方々に恩返しをし、農業の活性化の一助になりたいと思っています。



編集後記

新規就農コーナーのインタビュアーでは、小松さんにはお忙しい中ありがとうございます。深谷市の農業活性化の一助になっていただきたいと思います。

暦の上では、「小寒」から「大寒」に入り、冷え込みも激しく、寒さが最も厳しい時ですが、二十四節気の最後の節気で、ここを乗り切れば春近しいということですが、

現在の編集委員で発行する農委だよりは、今号が最後になりますが、発行に当たり、これまでご協力をいただきありがとうございます。また、七月からは、深谷市農業委員会は新たな体制となりますが、今後も委員会の活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

農委だより編集委員会

- | | |
|-----|-------|
| 委員長 | 瀬山 郁三 |
| 委員 | 清水 宏純 |
| | 増野 和明 |
| | 坂田 富男 |
| | 原口 洋子 |
| | 金子 福島 |
| | 金子 政治 |
| | 原口 洋子 |
| | 蛭川 登 |
| | 芳雄 |

全国農業



新聞

週刊

金曜日発行

月700円、年8,400円

お申し込みは農業委員会へ

リサイクル適性◎
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

グリーン購入法
適合印刷物です